

2001年

9  
月号

# Stage Up

生涯学習情報誌  
ステージ・アップ  
通巻 No.103



写真：「飛び立つ」(ダイサギ) 有田政一さん撮影 (南多摩にて)

- もくじ**
- 2** 特集 インタビュー 池田ハルミさん
  - 4** 生涯学習ア・ラ・カルト
  - 6** ぐるーぷ BOX / いま地域で学校で
  - 7** まち・ひと・多面体 / 暮らし百景 歌壇
  - 8** イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団  
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1  
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085  
ステージ・アップ直通 TEL 044(733)5811 E-メール: [stage-up@kpal.or.jp](mailto:stage-up@kpal.or.jp)

## 特集

## インタビュー

フレンドリースペース「ハナさんハウス」代表

池田 ハルミ さん

## いまを話す

題字：高橋 清 市長

伯母の「蔵田ハナ」さんが遺した家を、高齢者が集う地域福祉の拠点にした池田ハルミさん。小誌のインタビュー依頼があったとき、「学歴も肩書きもないただのおばさんだから」とためらう池田さんに、大学生の息子さん「学歴も肩書きもない、親の七光りもない、ただのおばさんでも、気持ちさえあれば出来るんだということをおばさんに知らせるいいチャンスじゃない。そうしたら、みんなが何かに取り組むハードルが低くなるかも…」とアドバイスしたそうです。オープンから1年半、「ハナさんハウス」での活動について池田さんにお聞きしました。



## みんなで作った憩いの場<sup>ハウス</sup> 市民アカデミーでの学びが活動の原点

——池田さんは、1999年12月、伯母さんから相続した50坪の土地と建物を、高齢者が集うフレンドリースペース「ハナさんハウス」としてオープンし、会食会などの活動を始められましたが、なぜ、譲り受けた家をこのような形で使おうと思われたのですか。

池田 いきなり不動産を相続して当惑しました。売る話もあったのですが、みんなで遊べる場があったらいいなと思ったのです。それならどんな風に使うか、いろいろと夢はふくらみましたが、「かわさき市民アカデミー」で福祉や余暇生活について学んだり、この家の持ち主だった伯母の介護をした経験から、高齢者のことが少しわかっていましたので、高齢者の憩いの場にしようと考えたのです。ですから、活動の原点はアカデミーです。アカデミーの学びの中で、地域に出て活動したのがきっかけで生涯の友と呼べる人にも出会いました。その人たちには今でもいろんな場面で助けてもらっています。

そんなわけで、友人や知人と一緒にボランティアの家をつくることにしました。

——資金ゼロから出発されたそうですが、どのようにしたのですか。

池田 まず、築50年の壊れかけた家を使えるようにしなくてはなりません。どこから手をつけていいのやらといった状態でした。

私が費用を出して業者に頼んで改装するのは簡単です。でも、私はここにかかわる人がみんなで作り上げていくことが大事だと考えていました。ボランティアをする場合、みんなが対等な立場です。ひとりだけがお金を出したらその人が“社長”になってしまい、他の人と対等な関係が保てなくなります。ですからお金は出さず、バザーなどで資金を作りながら少しずつ手を加えました。

——それではたいへんな時間と労力がいらいますね。

池田 改装も業者には頼まず「こんなこと出来る人いないかしら？」と知り合いに声をかけ、ボランティアでしてくれる人を探しました。わからない事やむずかしい事は「どうしたらいい？」と友人に相談しました。するといろんな人が協力を申し出てくれたり、知恵を貸してくれたりしました。直接の知り合いではないのに、人づてに聞いて力になってくださった人もいます。

この部屋の床を畳からフローリングにしてくれたのは、茶髪で耳にいくつもピアスをした大工見習の青年でした。私の知り合いではないのですが、誰かから聞いて手伝い

に来てくれました。近くの中学校の女生徒3人が夏休みにやってきて、壁にペンキを塗ってくれたこともありました。本当にうれしかったです。多くの人の善意で、10カ月ほどで家は見違えるようになりました。

——オープンから1年半、現在はどのような活動が行われていますか。

**池田** 毎月第2・4火曜日に会食会をしています。10時ごろから午後2時ごろまで、ここに集まって端唄を歌ったり、手芸をしたり、おしゃべりをしたり、自由に楽しんでいただきます。昼食は、初めのころ近くのお弁当屋さんで頼んで作ってもらっていたのですが、「ご飯とみそ汁と漬物でいいから、ここで作ったのをお碗に盛って食べたい」という要望がありましたので、今はボランティアが作っています。この前、庭でイワシを炭で焼いたものを出したら、とても好評でした。

また、端唄の練習会や囲碁グループ、地域の高齢者の会合などにも場所を提供しています。地域の人たちと一緒に楽しもうと、バーベキューや餅つき会もしました。

昨年4月から今年3月までに「ハナさんハウス」に来てくださった方が延べ1360人になります。ここでは会場として使用したら1人1回100円、会食会に参加したら500円いただいています。会計担当の人が計算したらこの数字になりました。当初は予想もしていませんでしたので、こんなに来てくださってとてもうれしいですね。



楽しい会食会の日。まずは端唄でございさつ(提供写真)

——外の掲示板に「高齢者のためのパソコン塾」のお知らせがあったのですが、ここで教えているのですか？

**池田** 昨年秋から講座を始めました。ある高齢者向けのパソコン教室を受講された方から、「パソコンを使えるように教えてもらいたい」と言われました。私はメールの送受信ができる程度なのですが、「いいよ」と返事をしてしまったのです。でもハナさんハウスにはパソコンがありません。そこでまたいろんな方に声をかけ、寄贈してもらったり、ノートパソコンを貸してくれる所を探したりしました。そしてある財団の援助を得て「高齢者のためのパソコン塾」を10回行い、14人が受講しました。その後も「パソコン塾」は月・金曜の10時から開いてい



インターネットは玉手箱。人気のパソコン塾は熱気いっぱい(提供写真)

ます。ここでは教える内容をメールの送受信とインターネットの使い方に絞っています。パソコン塾は人気で「まだ高齢者ではないけれど習いたい」という声もありましたので、そういう方も受け入れることにしました。

——ここでのボランティアの役割は？

**池田** いま、ボランティアは40人ほどいます。ここでは自分が出来る時に出来ることをするのがボランティアです。何でもいいんです。庭の草むしり、掃除、鍵の管理、家の修理、会食会の受付、調理、ホームページ作成、パソコン塾のサポートなど、みんなが自分の出来ることでかわり、豊かな気持ちになれたらいいと思います。

——これからの抱負をお聞かせください。

**池田** 空き時間がないように、地域のみなさんに使っていただきたいですね。私は以前から絵本の読み聞かせのボランティアをしています。最初は、ここで子どもに絵本を読んであげようと思っていました。今のところここでは子どもを対象にした活動をしていませんので、子どものために活動するグループに使っていただけたらうれしいです。そしてここが世代を超えて集う場、みんなが楽しめる場になればいいと思っています。

#### ◆ハナさんハウスのご案内◆

〒210-0844 川崎区渡田新町2-5-1。JR・京浜急行川崎駅からバス、渡田新町下車徒歩2分。☎044(333)0087。月・水・金曜の10時～12時にはボランティアがいます。ホームページ…<http://www6.plala.or.jp/hanasan/>

#### 池田 ハルミ さん (いけだ・はるみ)

川崎区生まれ。かわさき市民アカデミー一期生。生活系の「余暇生活」「高齢者福祉」を学ぶ。学歴・肩書きなし。友人・知人数あり。「ハナさんハウス」代表。絵本の読み聞かせボランティア「おきな木」代表。

## ●まなぶ●

土と語る 土と遊ぶ

## 「陶芸教室」受講者募集

ものづくりの楽しさを体験しませんか。毎回人気の講座です。土をこね、自分の手で生み出すオンリーワンの作品にワクワクすること請け合いです。

## 【コース】

**ロクロA** …10/3～12/12 毎週水曜 (11/28除く)  
13時半～16時 全10回

**ロクロB** …10/13～3/9 第2・4土曜 (11/24除く)  
9時半～12時 全10回

**手びねりA** …10/3～12/12 毎週水曜 (11/28除く)  
9時半～12時 全10回

**手びねりB** …10/13～3/9 第2・4土曜 (11/24除く)  
13時半～16時 全10回



- 【会場】** 川崎市生涯学習プラザ 地下実習室  
**【対象】** 18歳以上の方  
 ロクロコース希望の方は手びねり経験者  
**【定員】** ロクロコース各10人 手びねりコース各15人  
 (定員を越えた場合は抽選になります)  
**【内容】** 成形、削り、絵付けなどを指導  
**【費用】** ロクロ28,000円 手びねり22,000円  
 (材料費・焼成料込み)  
**【申し込み】** 9月8日(土)必着で、はがきに「プラザ〇〇  
 コース A 又は B」と明記し、郵便番号・住所・氏名・☎をご記入の上、下記の住所にお送りください。  
**【住所】** 〒211-0064  
 中原区今井南町514-1  
 川崎市生涯学習振興事業団  
 学習事業室「陶芸教室」係

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626

## 生涯学習ア

## ●はぐくむ●

仲間と交流深めよう

## 「川崎市青少年の家」ご案内

田園都市線宮崎台駅から徒歩12分。豊かな緑に囲まれたところに「川崎市青少年の家」があります。ここでは、青少年の育成を目的とした施設ですが、一般成人団体もご利用いただけます。舞台のあるプレイルーム、防音設備の整った音楽室などもあります。また、園庭ではキャンプファイヤーやバーベキューもできます。

## 【利用対象】

- ① 宿泊研修を目的とする青少年団体や学校
- ② 研修計画のある一般成人団体

## 【申し込み】

日帰り利用…利用日の19日前から3日前まで

宿泊利用…青少年団体は利用の6カ月前(一般成人団体は利用の3カ月前)から20日前まで

問い合わせ 川崎市青少年の家  
 〒216-0033 宮前区宮崎105番地1  
 ☎044(888)3588/Fax044(857)6623

### 川崎市子どもの権利に関する条例—その5 —権利条例の一部改正について—

子どもの権利条例の制定時(2000年12月)には、権利侵害からの救済にかかわる内容は、別途、新たな人権オンブズパーソン制度の条例化の中で実現が図られる予定であったため、附則に関連する内容を定める形にとどめていました。

この6月の市議会において、おもに子どもと女性の権利侵害についての相談と救済にあたる「川崎市人権オンブズパーソン」条例案が審議される運びとなったため、子どもの権利条例も関連する部分を一部改正することとなりました。

具体的には、子どもは人権オンブズパーソンに対し、権利の侵害について相談または救済を求めることができるといった内容と、市は関係機関等との連携を図り子どもの権利侵害の特性等に配慮した対応に努めることを、第5章「相談及び救済」として追加しています。(追加の部分以外に変更箇所はありません)。

6月の市議会においては、川崎市人権オンブズパーソン条例、男女平等かわさき条例の制定と、子どもの権利条例の一部改正がなされ、それぞれ6月29日に公布されました(ただし、人権オンブズパーソンについては13年度内の施行をめざし準備に入っています)。

問い合わせ 市民局人権・男女共同参画室 ☎044(200)2344

## ラ・カルト

## ●たのしむ●

当事業団後援

## 高千穂大学公開講座のおしらせ

高千穂大学では多摩区登戸にある同大総合グラウンドで、「ヘルスチェックとスポーツ」をテーマにウォーキングやテニスを取り入れた公開講座を行います。

## 【日 時】

10月6日～11月17日の土曜 10時40分～12時 全6回  
(ただし10/6は10時半から、11/17は12時開始)

## 【場 所】

高千穂大学登戸総合グラウンド(登戸駅徒歩7分)  
杉並キャンパス体育館(井の頭線西永福駅徒歩7分)

## 【対 象】

多摩区在住・在勤の18歳以上の方20人(抽選)

## 【受 講 料】

無料(資料・保険代など500円)

## 【講 師】

石黒弘 今野廣隆 三沢幸雄(同大教授)

## 【申し込み】

9月18日(必着)で、往復はがきに「高千穂大学公開講座受講希望」と表記の上、郵便番号、住所、氏名、電話、性別、年齢を記し、下記あてにお送りください。

〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1 高千穂大学公開講座係

問い合わせ 高千穂大学公開講座係 ☎03(3313)0146

## ●さがす●

## 「ふれあいネット」は講座探しの強い味方

さわやかな風が吹きはじめると、学習意欲や好奇心がみなぎってきます。この秋、新しいまなびにトライしてみませんか。

市内42カ所の公共施設に設置されている利用者端末「ふれあいネット」では、施設の利用予約だけでなく、情報の提供も行っています。特に「講座・催し物情報」には、公共・民間施設などが主催する生活・文化・スポーツなどの多彩な学習情報が入っています。操作は簡単!パネルに触れるだけで探したい情報が得られます。必要な情報をその場で印刷することもできますのでご利用ください。

※「ふれあいネット」に入っている情報は、施設利用者カードを使わなくても見ることができます。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

## ハート &amp; ハーモニー Vol.15

## ヘルスプロモーションとは?

ヘルス プロモーション  
「健康を増進すること」とは一体どういうことをイメージすれば良いのでしょうか?

WHOの「ヘルスプロモーションに関するオタワ憲章(1986年)」では、ヘルスプロモーションとは「人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセス」と定義しました。さらに健康は目的ではなく「資源」とであると続きます。個人と社会の「健康資源」に着目すれば、健康づくりの目標も計画も見えてくるはずで

す。「健康」を金銭的な経済尺度で計ろうとする試みは今までにうまく行っているとは思えません。経済的な要因は健康に大きな影響をもたらすことの一つですが、「お金で健康は買えない」の言葉の通りに健康資源である生活の質を計る物差しにはならないのです。健康を計る良い物差しがあればよいのですが、WHOの健康の定義にあるような「身体面」「心理面」「社会面」といった観点から総合的に判断するのが、今のところ妥当なようです。

しかし健康資源に恵まれたヘルシーな人と社会が作れることは、必ず実感として違いは分かります。人の場合は普通、基本的な資源に大きな差はありませんから、自分の資源を大切にしてい意識的に開発してきた人と、健康に背を向けた生活をしてきた人との間で、時間と共に大きな違いが現れてくるのは当然です。ただし責任をすべて個人に押しつけるのではなく「健康を選ぼう」(1990年世界禁煙デー標語)と言えるための選択肢が、社会の中に豊かに用意されていなければ個人の努力では限りがあります。

社会の健康開発は「健康を意識した政策」の有無が資源の蓄積に影響しています。憲章では「すべての部門の政策に健康という視点を追加する」事を強調しています。保健部門の政策のみならず、すべての政策決定が社会の健康に貢献するか、足を引っ張るかのチェックは「健康オンブズパーソン」のような、広い視野で判断のできる組織制度が必要だと考えられます。そうでないと健康は常に「お題目」であっても中身の伴わないものに終わります。挨拶の最後に「皆様のご健勝をお祈りします」で済ませて良いものではありません。

健康を意識することは、健康阻害要因ばかりに目を向けるのではなく、健康的な社会とライフスタイルを選択するための前向きで積極的な理念を、まず身に付けて、提唱していくことです。

オタワ憲章は健康を扱う窓口で手に入るはずで  
(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

## ぐるーぷBOX

## 仲間と共に関心の輪を広げる

## 「かわさき市民フロンティア」

生涯学習振興事業団が運営するかわさき市民アカデミーからは、講座の終了後も一緒に学んだ仲間が集まり、さまざまなグループが生まれています。平成8年に結成された「かわさき市民フロンティア」(花沢幸男会長・会員数61人)もそのひとつ。アカデミーで学んだ事や社会や家庭での経験を生かし、講座や鑑賞会の開催、環境



保全活動、子ども情報誌の発行などを行っています。

活動は「これをやってみたい」という会員の一声から始まります。その提案に関心を持った仲間が集まり、各自得意なことを生かしながら実行に移します。

このようにして誕生し、5年間多くの受講生を惹きつけているのが美術講座=写真=です。今期のテーマはイタリア美術紀行。会員で講師の棚橋恵津子さんが歴史や街並の話を変えながら、スライドで作品を解説してゆきます。スライドは棚橋さんが現地で購入したり、ご自分で撮影されたもの。観光ツアーでは鑑賞できない作品も紹介したいと、ヴェネツィアの講義ではサン・マルコ寺院の華麗なモザイク画から、今では寂れてしまった村の教会の作品にまで話が及びます。スライドの映像が変わるたびに小さな歓声があがり、熱気にあふれた講義風景でした。

会員の声「講座の開催には会場の確保など大変なこともあります。考えていたことを形にし、皆で実行に移してゆくことはとても充実感があります」。

◆活動日・場所：活動内容により異なる

◆連絡先：☎(733)2622のフロンティア事務局  
月・火・木の10時から13時

## いま地域で学校で

## 気づき、考え、行動する

## —中野島中学校のボランティア—

多摩区の中野島中学校(飯塚正秀校長、生徒数913人)ではボランティアを「自分で気付いたこと、こうした方がよいと思ったことに自発的に取り組む活動」と位置付け、平成8年から生徒の自主性に任せた活動を展開しています。

まず授業時間を使って1・2年生全員参加の「ボランティア体験」を毎年2月に実施します。実行委員会を組織するところまでは先生のリードで行いますが、その後の企画・運営(アンケートをとり、活動内容を決定し、当日の仕事の分担や用具の準備をする)などは生徒主体で行動します。活動は身近なところを中心に、教室の床みがき、グラウンド整備、近くの神社や公園の清掃などを行います。ボランティアを体験して「最初は嫌だったけれど、きれいになってうれしかった」「はじめは面倒と思ったけれど、やった後はすっきりして気持ち良かった」など前向きな感想を述べる生徒が多いそうです。

この体験がきっかけになり、学校外にも活動の輪を広げたい、もっとたくさんの人々の役に立ちたいと思うようになった生徒たちが、新たな取り組みを始めるのです。

夏休みや放課後など自分の時間に、保育園や児童保育、老人・福祉施設の手伝いをしたり、地域のこども会でのラジオ体操の世話=写真=をしたり、手話や点字の勉強を始める生徒もいます。保育園で保育母さんの手伝いをした生徒は「子どもたちのほうからたくさん声をかけてきてくれ、一緒に楽しく過ごすことができました。また行って役にたてたらいいな」と感じたそうです。

飯塚校長は「中野島中での体験は動機付けです。今すぐには貢献できなくても、生徒たちの心にボランティアの芽を育てていきたい」と語っていました。



まち・ひと・多面体

音楽で“癒しの場”をつくる

「井田病院院内コンサート」

川崎市立井田病院では、「癒しの環境」づくりのひとつとして、7年前から「院内コンサート」を開いています。月1回・入場自由のコンサートには、患者さんだけでなく一般の人も多く集まるようになりました。企画は、職員で構成された「市民交流委員会」で、ピアノやギター、マリンバ、オルゴール演奏の他、シャンソンや語りなど、年間を通して多彩な音と触れ合えるよう工夫しています。

伺ったこの日は、市内在住のピアニスト、西原のぞみさんの「ミニコンサート」が開かれていました。西原さんは1996年から年5回のペースで演奏していて通算27回の出演、毎回聴きに来るファンもいるほどです。薬局前ホールは200人近い人でいっぱいになりました。車いすの人や点滴をしながら耳を傾ける人もいます。

プログラムは、ドビュッシー作曲「アラベスク1番」チャイコフスキー「舟歌」など小品6曲。しなやかな指から紡ぎ出される流麗な調べに聴衆はうっとり。演奏の間には、西原さんが「音楽豆知識」や曲にまつわるエ



ピソードを紹介。会場は温かい雰囲気には満ちていました。

西原さんは「始めたころは、院内の雰囲気にとまどいましたが、患者さんから『こんなに楽しかったのは入院してはじめて。ありがとう』と声をかけられたことが励みになっています」と話していました。

秋の院内ミニコンサートは、9月25日(火)午後、慶應ワグネル・ソサエティ・オーケストラの演奏▽10月10日(水)11時から、西原のぞみさんのピアノ演奏の予定です。問い合わせは☎044(766)2188内線5611、事務局医事課の早田さんまで。

くらし百景

歌壇

幸短歌研究会

- |                            |                               |       |
|----------------------------|-------------------------------|-------|
| 紙漉きは勘半分に慣れ半分               | 黄蜀葵足しつづつ蠟つぶやく                 | 永田 利一 |
| 桜佳し花びとも佳し今日の酒久しぶりなるふるさとの庭  | 帰り来し茶の間の椅子に安らいでやっぱりここがわたしの居場所 | 佐久間五朗 |
| そよ風に花と花とが触れ合いてわたし独りのコーヒータム | やがてわが入るべき墓は三人の従弟の墓に囲まれてあり     | 藤田 妙子 |
| 伐られたる木にひこばえの再誕             | 雨降りつづく六月の朝                    | 小泉 綾子 |
| 耳は二つ口は一つなり二つ耳に多くを聞かなと坐り直しぬ | 春雷に眠り覚まされまず思ふ太郎杉にはきよう逢えぬかも    | 岡本 寿夫 |
| しばらくを海に向いて腰下ろす空はやさしく海に触れいる | 風ひとつ岬の風をほしいままに潮はひたすら北指す真昼     | 白井 喬子 |
| 丘の町こぐま街道ひと走り小樽運河に沈む太陽      | 底冷えの銀の世界に紅梅が身じろぎもせず凛として立つ     | 古村美恵子 |
| 高層のビルの谷間の春の虹見知らぬ人と声にし見上ぐ   | 復員の吾が背を流す母の手が隈なく探す瑕は無きかと      | 遠藤 照子 |
| 職退きて暇もありて過ぐる日日桜の花の季も終わらぬ   |                               | 大島せつ子 |
|                            |                               | 南 靖子  |
|                            |                               | 佐久間康子 |
|                            |                               | 金子 一作 |
|                            |                               | 美濃部 貞 |
|                            |                               | 今野 実  |

※幸短歌研究会は一九九四年九月に発足しました。高橋幸子先生の指導下、第二水曜日の午後、幸文化センターで研究会を持っています。

代表 佐久間 五朗

## 情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

## ●かわさきウェルフェアコンサート～爽やかなナポリの風を

9月28日(金)18時半開演、川崎市産業振興会館。出演は雨谷麻世(ソプラノ)、ディ・アマリオ・ヴィンチェンツォ(エレクトーン)。曲目は「旅情」、「忘れな草」他。全自由席3500円。☎(344)6444「リバーカーレントの会」の荻野さん。

## ●かわさき21ヤングミュージカル～明日のオルゴール

公募による小学3年～成人の市民=写真=が出演するミュージカル。脚本・演出は麻生区在住のふじたあさや。公演は9月23日(日)14時と18時半、川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)。▽10月4日(木)19時、麻生市民館。各500円。☎かFaxで。☎(200)3248、Fax(245)1501 市民局市民文化室。



## ●ブルース・アーベルバリトンリサイタル

9月26日(木)18時半開演、洗足学園前田ホール。曲目はシューマン「さすらい」他。無料。☎(856)2981。

## ●ランチタイムコンサート～秋色コンサート

9月19日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。リコーダーとギターのアサンブル。出演は金子健治(リコーダー・ケーナ)、畑内浩(ギター)。曲は「口笛ポルカ」「コンドルは飛んで行く」他。無料。☎(222)8821の文化財団。

## ●敬老記念公演～懐かしい唄・思い出の曲をあなたに

9月13日(木)14時開演、川崎市民プラザ。出演は三船浩。無料。先着500人。☎(888)3131。

## ●中村正義の美術館～MADE IN JAPAN

9月5日(水)～12月2日(日)。1963年のロンドン展の出品作を中心に約40点を展示。一般500円、小中生200円、高大生と65歳以上300円。月火休館。☎(953)4936。

## ●川崎市市民ミュージアム～ロートレックとその時代

10月28日(日)まで。ロートレックを中心にミュシャ、ボナールらのポスターと書籍・雑誌を展示。一般500円、大高生300円、中学生以下と65歳以上は無料。☎(754)4500。

## ●岡本太郎美術館～岡本太郎と縄文

10月8日(月)まで。縄文期の土偶や土器など約30点と岡本作品の油彩、立体、写真を展示。入場料一般900円、大高生700円、中学生以下と65歳以上は無料。☎(900)9898。

## ●スナック喫茶琴～作品展①風景写真②アクリル画

①9月3日(月)～15日(土)。大上写真グループの作品。②9月17日(月)～29日(土)。画楽の会の作品。☎(544)0507。

## ●東芝科学館①わくわく実験ショー～レーザーとホログラム

## ②ガリレオ工房科学実験教室～超能力のなぞをとく

①は9月8日(土)②は9月22日(土)、時間は①②共10時と13時半。定員①各250人②は小学4年以上各50人。要予約。無料。☎(549)2200。

## ●中部身体障害者福祉会館～拡大写本入門講習会

10月4日～11月8日の毎木曜10時から、全6回。弱視者のために本などを大きく書き写す拡大写本の基礎を学ぶ。対象は市内在住・在勤・在学の20人、抽選。テキスト代700円。☎9月25日(火)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎を記し、〒211-0068中原区小杉御殿町2-114-1の同館。☎(733)9675。

## ●川崎授産学園～手話基礎講座

10月12日～11月16日の毎金曜10時から、全6回。無料。30人、抽選。☎9月20日(木)までに、はがきに住所、氏名、☎を記し、〒215-0001麻生区細山1209の同園。☎(954)5011。

## ●サンライフ川崎～実用ペン習字教室

9月18日～10月16日の毎火曜18時半から、全5回。受講料3150円、教材費500円。先着30人。☎(344)1777。

## ●プラザ橋～講演会「携帯電話の知識」

9月6日(木)13時半から。講師は澁澤健太郎・東洋大学講師。先着100人。無料。☎電話受付中。☎(788)1531。

## ●青少年創作センター～秋の創作教室(小中学生対象)

## ①陶芸②版画③クリスマスケーキづくり

①は10月7日～28日の日曜。材料費1000円。②は11月24日(土)、25日～12月9日の日曜。500円。③は12月23日(日)。2500円。時間はいずれも9時半から。定員各30人、抽選。☎9月9日(日)までに往復はがきに教室名、住所、氏名、学校・学年、性別、☎を記し、〒214-0034多摩区三田2-3303-1の同センター。☎(911)1510。

## ●青少年創作センター～秋の創作教室(成人対象)

## ①クレイアート②草木染め③はた織り

①は10月5日～26日の金曜。費用4500円。②は10月24日(木)、31日(木)、11月1日(木)、8日(木)。6000円。③は10月12日～26日の金曜。3000円。時間は①②9時半から③は10時。定員は①②30人③12人、抽選。☎9月9日(日)までに往復はがきに教室名、住所、氏名、性別、☎を記し、〒214-0034多摩区三田2-3303-1の同センター。☎(911)1510。

## ●清泉ラファエラ・アカデミア秋期講座

10月開講の英会話・通訳・スペイン語・テニス・絵画・フラメンコほか29講座の受講生を募集中。場所は清泉女子大学宮前平キャンパス。受講料は1期10回18000～25000円。☎03(3447)5551の同大生涯学習センター。

## ●多摩自然遊歩道歴史探訪

9月22日(土)10時、南武線稲田堤駅集合。「小沢城里山の会」が史跡を案内。コースは薬師堂～小沢城址～フルーツパークなど17カ所。30人。☎(944)5280の宮崎さん。

## ●プラザ大師子育て交流会

## ①ミニぱーく②ほっとぱーく③ふれあいプッチぱーく

毎月1回開催。①は第3水曜、ゼロ～2歳児とその保護者。②は第1水曜。3歳以上。③は第4水曜。年齢不問。時間はいずれも9時半。当日直接。無料。☎(266)3550。

## ●麻生合唱団団員募集

練習は毎土曜18時半から、新百合ヶ丘駅から徒歩12分の青葉幼稚園で。2002年秋以降の演奏会に向けモーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」を練習。入会金1000円、月会費一般3000円、学生2000円。☎(986)9144の鈴木さん。